

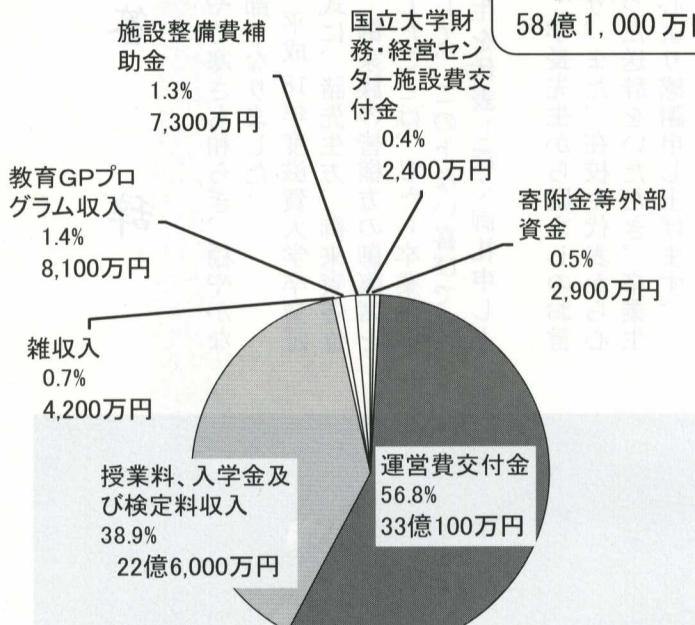
滋賀大学経済学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1 滋賀大学経済学部後援会 発行責任者／土田一善

目次

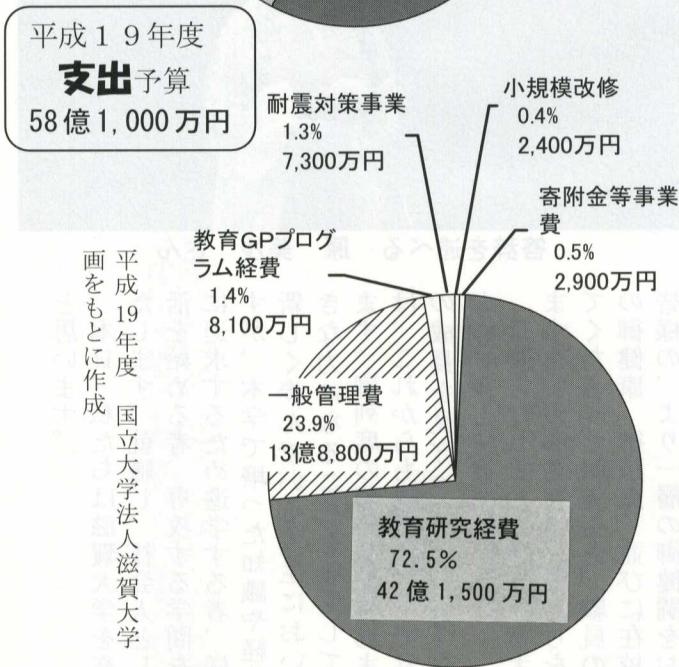
方針と課題	1
卒業式・答辭	2
後援会総会・入学式	3
教育カリキュラム	3
S I F E 世界大会出場	5
学生自主企画プロジェクト	5
新就職支援体制	7
入試状況	8
就職状況	9
国際交流	11
平成18年度決算	14
平成19年度予算	15
学年暦	16

滋賀大学の予算



平成19年度
収入予算
58億1,000万円

平成18年度から国立大学法人も含めすべての公共部門が5年間5%以上の人件費削減を求められています。情勢や環境にはきわめて厳しいものがありますが、平成19年度を「中期計画を達成し未来を展望する年」とし、一昨年に策定した財政計画を堅持しながら学生募集力と就職率のアップ、学部がこれまで進めてきた教育改革の定着化、学生支援サービスの充実、施設の整備、大学長期ビジョンの検討などに取り組みます。具体的には以下の8の重点課題



- ①「平成20年度評価」に向けて年度内に中期計画をやり遂げる
- ②学生募集力と就職力を強化し、大学のブランド力を高める
- ③大学院の定員確保対策を検討し必要な措置を講じる
- ④教育研究体制と経営基盤の現状を分析し改善策を検討
- ⑤滋賀大学教育研究支援基金のキャンペーンを展開
- ⑥既得GP（8頁参照）の推進と競争的外部資金獲得への新たな努力
- ⑦国宝彦根城400年祭への協賛
- ⑧大学の将来構想に関する検討組織の設置

を通じて、大学づくりを前進させます。

なお、国立大学法人評価委員会による各大学の中期計画実施状況に対する評価は、平成16～19年度の4年間の実績が最終のものとなります。評価のポイントは、①個性豊かな国際的にも存在感のある大学をめざしているか、②学長のリーダーシップのもと機動的・戦略的な運営がされているか、③国民に説明責任が果たされ、社会に開かれた運営になっているか、とされています。今年度は、本学の計画総仕上げのつもりで全力を尽く所存でありますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

（成瀬学長）

平成19年度パンフレット「滋賀大学」

平成18年度卒業式

3月23日(金)午前10時から、彦根市の文化プラザで卒業証書、学位記、修了証書授与式が挙行され、総計928名が実社会等に巣立ちました。

式典では、学歌斉唱の後、各学部等代表者への卒業証書等の授与が行われ、成瀬学長の告辞(長い目でじっくりと自分を育てよ)、在学生代表の送辞(教育学部3回生 靖央)、卒業生代表の答辞(経済学部 原 美沙)が述べられ、最後に、来賓の紹介がありました。その後、彦根プリンスホテルで経済学部卒業祝賀会が開催され、卒業生の門出を祝いました。

ようやく寒さも和らぎ、穏やかな春の季節となりました。

本日、平成18年度滋賀大学卒業証書授与式に、諸先生方、御来賓各位並びに、御家族の皆様方の御臨席を賜りましたことは、私たち卒業生にとってまして、この上ない喜びです。卒業生を代表し深く御礼申し上げます。

只今、学長先生から励ましのお言葉を賜り、また、在校生代表から心のこもった送辞をいただき、卒業生一同、心より感謝申し上げます。

思い起こせば4年前の4月、私たちは歴史と伝統のある本学に入学いたしました。期待と不安の入り混じった生活が始まつてから、はや四年の歳月が経ち、今日という日を無事迎えることができました。私たちにはこの4年間、諸先生方の温かい御指導や、多くの友人たちの支えの下で、社会の中で生きていくための基礎となる資質を培つて参りました。そして本日、深い感謝の念と新たな決意を胸に、社会人としての第一歩を踏み出します。

現在の世界に目を向けてみますと、国家間の対立や民族・宗教間の紛争が各地で発生し、世界の平和への道のりはまだまだ険しいように思われます。また、情報や科学技術、

答
辭



答辞を述べる 原 美沙さん

と思ひます。本日、私たちは滋賀大学を卒業いたします。就職し、社会人として生활を始める者、専攻する学問をさら追求するため進学する者、様々ですが、本学で培つた知識や経験が、新しく歩んでいく人生において大きな力になることを確信しております。御列席の皆様におかれましては、これからも温かいお心で私たちの成長を見守つていただけるようお願い申し上げます。

最後になりましたが、滋賀大学のますますの御発展と、私たちを育ててくださった諸先生方、職員の方々の御健康、御活躍、並びに在校生の皆様の、より一層の御健闘をお祈り致しまして、答辞とさせていただき

平成19年3月23日

卒業生代表

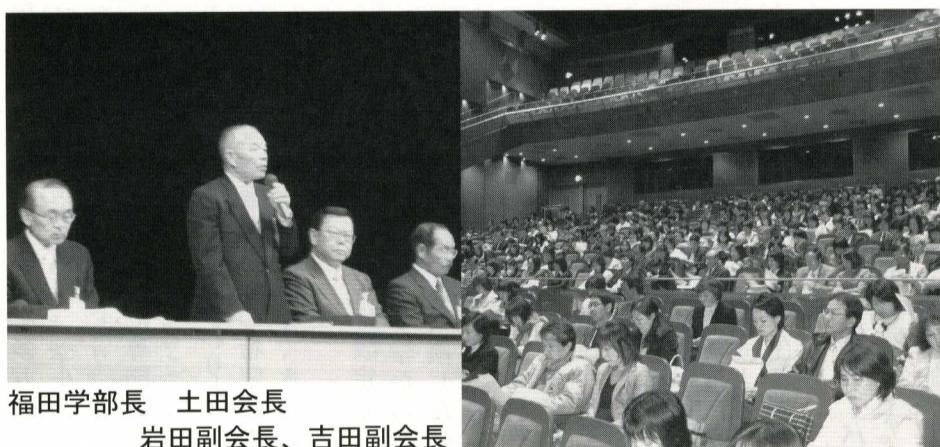
経済学部 原 美沙

平成18年度 卒業者数一覧

教育学部	265名
経済学部	544名
大学院 教育学 研究科	54名
大学院 経済学 研究科	50名
博士前期課程	4名
特殊教育特別 専攻科	11名
卒業者合計	928名

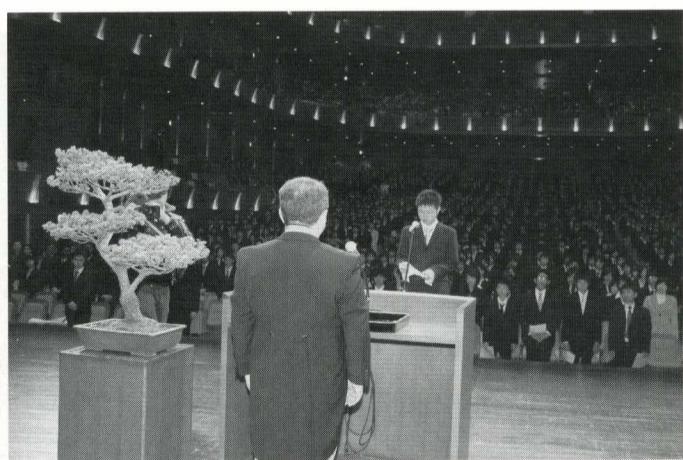
平成19年度 後援会総会

4月5日（木）入学式の終了後に開催し、多数の保護者が出席されました。土田後援会会长、福田経済学部長の挨拶、18年度後援会費決算報告、19年度予算審議、新委員の選出があり、続いて、学部から、学務関係事項の説明、学生関係事項の説明、就職状況の報告がありました。



平成19年度 入学式

4月5日（木）午前10時30分から、大津市のびわ湖ホールで入学式が挙行され、総計1005名（うち留学生56名）の入学生が、希望に燃え、新しいスタートを切りました。式典では、学歌独唱の後、入学生代表（経済学部 高木蓮）の入学宣誓が行われ、続いて、成瀬学長の告辭、堀川経済学部陵水会理事長からの来賓祝辞、在学生代表（教育学部4回生 永瀬裕子）から歓迎の辞が述べられ、最後に、来賓、本学役職員の紹介がありました。



経済学部 高木 蓮 君の入学生宣誓

平成19年度 入学者数一覧

教育学部	261名
経済学部	610名
大学院教育学研究科	74名
大学院経済学研究科	45名
	5名
特殊教育特別専攻科	10名
入学者合計	1,005名

この度滋賀大学に入学を許可されました。つきましては本文を尽くすことを誓います。
平成19年4月5日

滋賀大学入学生代表
経済学部 高木 蓮

誓詞

日頃は経済学部の教育にご理解とご支援を賜り深く御礼申し上げます。国立大学は平成16年度に法人化し、今年度でちょうど4年目となります。滋賀大学経済学部では、法人化スタートと同時に、教育の質の充実に力を入れた新しいカリキュラムを導入し、今年度末にはそのもとで教育を受けた学生がはじめて卒業する予定です。ここでは現行カリキュラムについて、その特徴を説明いたします。

本学部カリキュラムは、学年と特性にしたがつて三つの階層に分かれています（図参照）。第1階層では、大学入門科目を中心に学生が学習を進める上での基本的手法と知識を学ぶことが目的となっています。第2階層は、1回生秋学期から2回生にかけてコア科目群を中心とし、専門基礎を確実に修得する階層です。複数クラス開講、問題演習中のコア・セッションによる学習理解支援などによって、学部専門教育のコア領域をしつかり学んでもらいます。そして第3階層は、3回生から卒業までにゼミと専門科目履

副学部長（学務学生生活担当）
三ツ石 郁夫

教育カリキュラム

修によって個人の能力を多方面に伸ばす専門応用階層です。学生の勉学に関わる興味は多様であり、これに体系的に応えるために専門コース制が設定されています。これは、さしあたり所属学科に関わりなく、自分の勉学意欲と将来の希望に沿って体系的に応用学習をできることがあります。

第3階層をこのように設定している理由は、本学部が人文学から法学、社会学、情報科学を包摂した総合的な経済経営学部の教員を擁していていることに関係します。この特徴を教育に活かすために、6学科がそれ提供する非常に多様な授業を各学科の学生が学科の枠を超えて自由に修得できるシステムをとっています。もちろん学生は学科で入学しますが、そこを出発点として多様な領域と可能性が学生に開かれていることになります。

本学部の教育理念は、「グローバル・スペシャリストの養成」です。その意味するところは国際的であるだけでなく、学際的総合的でもあるスペシャリストを養成することです。さらに単なる専門家ではなく、少人数教育、教養教育と実践的教育に力を入れています。

少人数教育の中では大学に最初に入った時に新入生が大学生活にソフトランディングが出来るよう



に、大学入門セミナーという学生名程度の小クラス対話重視のゼミを週1で運営しています。また3・4回生には専門ゼミがあり、ここでも6学科の教員が提供する多方面にわたる演習のなかから一つ選択して所属します。他の演習に同時に参加することもできます。ゼミを通じた学生と教員との個人的な繋がりは卒業後も続きうるものであり、教養教育と合わせて、学生が自由な思考と責任意識をもつ市民として行動できるように目標を立てています。

に、大学入門セミナーという学生名程度の小クラス対話重視のゼミを週1で運営しています。すべてを紹介することはできませんが、これら

15



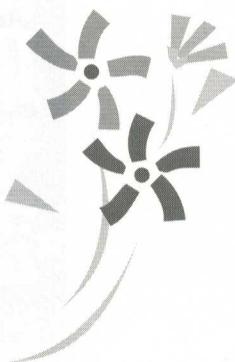
「現代の経営」(株)平和堂 夏原社長の講義

最後に実践的教育ですが、ここでは多様なメニューを揃えています。講義「現代の経営」「現代の経営」では、陵水会(経済学部同窓会)のご支援をいただいて現代のリーディング企業を招いて、経営トップが教壇に立ち、企業が直面している諸問題について生き生きと語りかけていただきます。今年度は平和堂さんご登場願いました。同じく講義の「リーダーシップ論」では、各方面のリーダーたちに実体験をもとに持論を語ってもらっています。実践科目としてのインターンシップでは、毎年50名ほどの学生が民間企業や公的団体で、また最近では会計事務所や税理士事務所でも1～2

週間就業体験をしています。英語教育のなかでは、後援会からご支援をいただきて1回生全員と2回生以上の希望者がTOEFL試験を受けます。すべてを紹介することはできませんが、これらを通じて社会と学生のニーズに応えるカリキュラムの編成に尽力しています。

こうしたカリキュラムは全国の大學生経済学部のなかでも非常にユニークであると自負しています。しかし単に制度が優れていたとしても、それを運用する教員と学生が動機付けを持って行動しなければなりません。学びて思わずばすなわち暗しです。そのための努力は実は非常に地道で丹念な活動を必要とするのですが、私たちは、研究はもとより、教育にこそ大学の王道があると考えています。

後援会の皆様が、こうした大学の地道な取り組みを引き続き温かくお見守りくださり、またご支援いただけますことを心からお願い申し上げます。



SIFE滋賀大チーム 日本代表として「ニューヨーク ワールド大会へ出場決定

SIFE滋賀大チームは、6月29日(金)に東京で開催された「2007 SIFE日本大会」において、優勝を果たし、今秋にニューヨークで開催される世界大会へと駒を進めることになりました。

日本大会の開催は今年が3回目、昨年の第2回大会で滋賀大チームは準優勝でした(優勝は高崎経済大)。今年は首都圏を中心に9大学(青山学院大学、慶應義塾大学、産業能率大学、東京大学、高千穂大学、デジタルハリウッド大学、一橋大学、法政大学、本学)が出場しました。午前中に3大学ずつ3グループにわかれ、予選ラウンドが行われ、勝者1チームが午後からの決勝ラウンドに進みます。滋賀大学は産業能率大学、高千穂大学と対戦しました。

滋賀大チームは、彦根ユビキタス産業協議会およびNTTドコモ関西と連携して、谷口ゼミと共同で取り組んできた、彦根をモデル地区とした携帯電話による学習型観光情報システムについてプレゼンテーションしました。与えられた24分をフルに利用して、「Preserve the historical heritage of smaller cities through tourism (観光振興

による小都市の歴史遺産の保護の実現)」について訴えました。プレゼンテーションはすべて英語で、質疑応答は英語または日本語で行われ、予期せぬ質問も受けましたが適切に回答することができ、順調に決勝ラウンドに進出しました。

決勝ラウンドでは、抽選によって、



決勝ラウンド

一橋大学・東京大学・滋賀大学の順で発表が行われました。

一橋大学は堅実に活動内容を表現したものの、英語による表現や見せ方が工夫不足という印象でした。また、東京大学は迫力あるプレゼンテーションを展開しましたが、プロジェクト内容として果たして調和のみならず経済学部の全学生にとっても大きな自信と勇気を与えるものといえます。

日本代表となつた滋賀大チームは10月10日から12日にかけて、45カ国以上の代表チームによりニューヨークで開催される、the 2007 SIFE World Cup、に出場します。彦根を、滋賀県を、そして滋賀大学を世界に紹介するチャンスを生かすべく、また日本の学生代表にふさわしいプレゼンテーションが行えるよう、チームの今後の奮闘が期待されます。

SIFE(Student In Free Enterprise)とは、アメリカ・ミズーリ州に本部を置くNPOで、大学生が地域密着・社会貢献活動を企画・実施することをサポートする団体です。そのような活動を通じて、経済メカニズムの理解、企画立案能力やコミュニケーション・マネジメント能力向上の機会を学生に提供するとともに、地域社会との協働・連携を実現する契機を大学に提供することを目的としています。現在世界約50カ国1800をこえる大学がその活動に参加しています。

「学生自主企画アドロジェクト」制度が発足

滋賀大学では、平成18年度から、教育的視点に立った学生の独創性、意欲的な活動を通じて企画力、行動力、実践力等を培うことを目的として、大学運営への学生の参画、学生自身の大学アイデンティティづくりとして、『学生の自主企画プロジェクト』を募集し、支援しています。

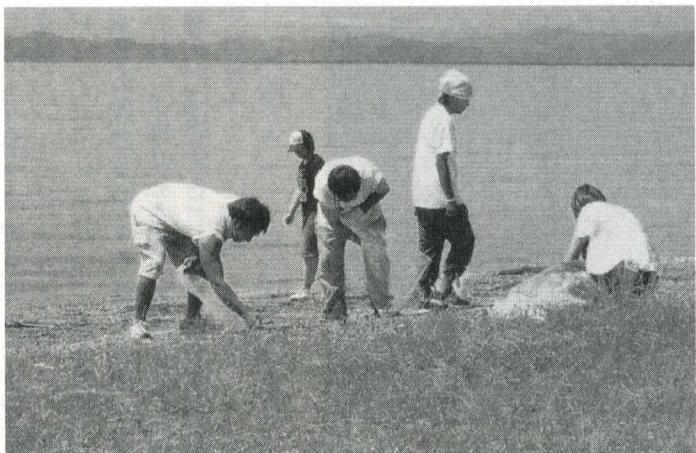
◎彦根ゴミ拾いボランティア
活動種別「ボランティア」

【活動】
日 時 18年11月25日(土)
13時から15時
講 場 所 経済学部大合併教室
受 講 者 広田真人
29名
講 義 内 容 証券投資に関する基礎、
テクニカル分析について

【概要】普段、株式投資研究会での勉強の対象である「証券投資」は、一般的には難しそうであるとか、ギヤンブル的なイメージが強いと思います。そこで、普段勉強している内容を広めるという目的でこの公開講座を企画しました。また、このプロジェクトを通じて企画力、運営力を実践的に養うことを目的とします。

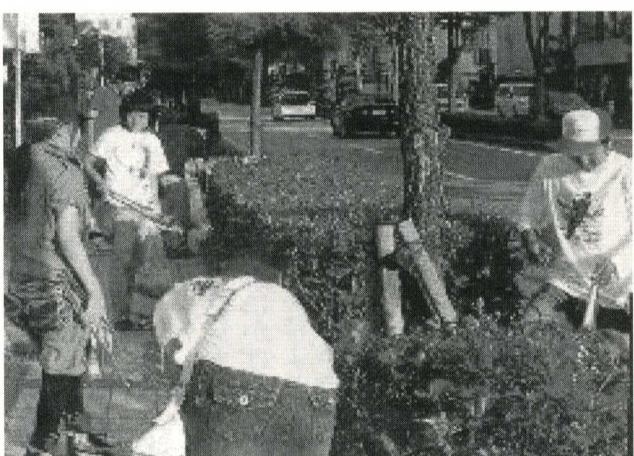
◎MA(マネジメントアシスタン
ト)による「証券投資とは何か?」
公開講座
活動種別「教育支援」

○平成18年度の企画
全学で11件の応募があり、6件のプロジェクトが採択され、経済学部では、次の3件が採択されました。



【活動】
18年6月 松原湖岸 4日間
7月 松原湖岸 1日(3日間は雨
天中止)
9月 傑聖寮近く 4日間
彦根市街 3日間(1日は雨

【概要】滋大祭が本年40周年を向かえ、その40年続いたということは、多くの人々の協力、参加があつたからで。そこで、滋大祭は琵琶湖湖岸がゴミで燐燐たる状況にある現状に問題意識を持ち、滋賀県の住民として、しいては地球の住人として、自ら琵琶湖の環境を守る運動を行い、地域住民の方々に感謝の気持ちを還元します。



◎SIFEの主旨に基づいた地域貢献
活動種別「地域貢献」
【略】

○平成19年度の企画を採択しまし
た



つた。学生とのコミュニケーションを深めたい。』との講評があり、今後、本プロジェクトが学生起業によるビジネスモデルの構築や大学構成員の意識改革につながることが期待されます。

○活動成果報告会
19年2月20日(火)、採択された
プロジェクトの活動成果報告会が
彦根キャンパスで開催されました。
各担当者からプロジェクトの成
果についての報告及び参加者との
質疑応答が活発に行われ、非常に活
氣あふれる報告会となりました。
小西副学長から『どのプロジェク
トも非常に出来がよく、個性的であ

（◎ASSIST Children(ボランティア)
◎SIFEの主旨に基づく地域貢献活
動(地域貢献)
◎経営学合同合宿ゼミナール主催
(教育交流・研究・地域貢献)

新就職支援体制と 平成18年度の就職状況

経済学部 就職委員長
森 将 豪

後援会の皆様におかれましては、平素より経済学部の就職支援業務に多大な御理解と御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

国立大学が国立大学法人化され、このような変革にともない、本学部では学生諸君に対する就職支援体制の整備が行われ、昨年度より実施されました。それは「経済学部キャリア形成総合プログラム」と呼ばれるもので、その内容は、一・正課キャリア形成プログラム(キャリア形成関連科目)、二・就職支援プログラム(就職支援室)、三・専門演習(ゼミ)を単位とした就職支援、が三位一体となり互いに補完しあいながら、学生諸君のキャリア形成を促しつつ系統的に就職支援を行おうとするものです。

具体的には、陵水協力講義や陵水懇話会に代表されるように陵水会と連携した幾つかのプログラムが

用意されており、学生諸君と本学部OBの方々との絆を強め学生諸君のキャリア形成を促進することにより、彼らの就職を有利なものへと導くことが企図されています。これに就職支援室と、各学科の教員による就職委員会が連携してきめ細かな就職支援体制を構築し、学生諸君の就職指導にあたっております。さらに、学生諸君の就職に際して不可欠となる『自己分析・自己PR・エントリーシート作成』にかかる個別相談や添削の支援を、ゼミ単位で担当教官が行うことなどが明記されたことは、本学部の就職に対する並々ならぬ意思表示でもあります。

旧聞に属しますが、昨年の「週刊ダイヤモンド(2006.9.23日号)」の表紙に、「出世できる大学」としてトップ出世ランキングの第9位に本学が記載されています。このランキン

本学が記載されています。このランキン

キングは日本の全上場企業三千八百余社の代表取締役についてその出身大学別に集計した結果ですが、絶対数により順位づけをしたものではなく、現在の代表取締役の方々が在籍していた時点での学生数の初公開! 進路指導担当者に聞く「学生を送りたい」大学

9 23

バイオ燃料で
ポスト石油時代へ
動き始めた世界

2006 定価570円

とは到底できません。本学部の生い立ちと伝統を思えば、就職の良否は本学部の生命線でもあり、「就職は本学部の大本、40年の大計」ともいえべき一大事です。

別掲の表(9~11頁)は、平成18年度の昼間主・夜間主を含む本学部の全体の就職状況です。法人化後の本学部の就職率は、全体(男女昼夜間主ごみ)で90~93%という高い水準を維持し続けており、昨年度は91%でした。平成18年度の特徴は、女子の健闘が顕著で在籍男女比を上回る実績を上げていることです。昨今の就職は、企業の好調な業績を反映し多数採用が見込まれてい

ます。しかし優れた学生を選び抜いて採用するという従来の方針に変わりなく、むしろその傾向は年々強まってきている感じがいたします。学生諸君の就職は依然として厳しい情況にあると言わざるを得ません。就職委員会では、就職状況が本学部の評価に大きな影響を与えるという認識により、これまで以上に学生の就職支援に力を入れてまいります。どうか後援会の皆様方におかれましても、「キャリア形成」や「就職して自立すること」の意義について、ご子息ご令嬢様とじっくりお話しする機会を持つていたいだきたいたいと存じます。

平成19年度 入学試験の状況

経済学部	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
昼間主	500	3,312	2,100	668	(11) 537
夜間主	50	101	96	58	52
3年次編入学	20	98	97	34	21
計	570	3,511	2,293	760	610

備考 () は私費外国人留学生を内数で示す。

大学院経済学研究科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
博士前期課程	52	76	68	50	45
博士後期課程	6	10	10	8	5
計	58	86	78	58	50

備考 外国人留学生を含む。

経済学部 都道府県別入学者数 (昼間主・夜間主)

北海道	2	静岡県	12	鳥取県	4	宮崎県	11
栃木県	1	愛知県	100	島根県	10	沖縄県	2
群馬県	3	三重県	17	岡山県	12	高卒認定	2
千葉県	1	滋賀県	107	広島県	4	帰国子女	1
富山県	12	京都府	77	香川県	1		
石川県	6	大阪府	45	愛媛県	3		
福井県	20	兵庫県	48	高知県	1		
長野県	6	奈良県	13	福岡県	2		
岐阜県	49	和歌山県	4	長崎県	2	合 計	578

1頁⑥「既得GP」とは、平成18年度に滋賀大学が、文部科学省の競争的教育GPプログラム(*)に申請し、以下の4つのプログラムが採択されたものです。

○特色ある大学教育支援プログラム・・教育学部

びわ湖から学ぶ環境マインド(18~20年度) -調査艇を利用した湖上体験学習-

○現代的教育ニーズ取組支援プログラム・・教育学部

知識創造型ユビキタスな学びプロジェクト(18~20年度)

-携帯電話対応コメントカードシステムを活用した知識創造力の育成-

○資質の高い教員養成推進プログラム・・大学院教育学研究科

「実践力診断講座」による教員の資質向上(18、19年度)

-プレ講座からパーソナルロードマップの作成-

○魅力ある大学院教育イニシアティブ・・大学院経済学研究科

リスクリサーチャー養成の教育プログラム(18、19年度) -海外共同教育プログラムを中心に-

*文部科学省の競争的教育GPプログラムは、わが国の大学教育改革、とりわけ教育の質の大幅な向上を目的として募集、採択されています。本学は、このたびの4件のGP採択を契機に学生の知的成長を支援する教育システム、満足度の高いキャンパス環境の構築を柱とした個性的で魅力ある大学づくりにいっそく努力していく所存です。

-「4つのGPが採択!」(平成18年11月滋賀大学教育改革室発行)をもとに作成-

平成18年度 就職状況

就職先（経済学部）

人 数	会 社 名 (順不同)					
16名	(株)京都銀行(5)					
14名	(株)滋賀銀行(10)					
7名	(株)大垣共立銀行(1)	京都中央信用金庫(2)				
6名	(株)十六銀行(1)					
5名	(株)関西アーバン銀行(1)	(株)百五銀行(3)	(株)三井住友銀行(1)			
	日本生命保険相互会社(1)					
4名	(株)三菱東京UFJ銀行(1)	三菱UFJ証券(株)(3)	住友生命保険相互会社(2)			
3名	三菱重工業(株)	化テイン(株)	関西電力(株)(1)	(株)イシック(3)	菱電商事(株)	イオン(株)(1)
	(株)松坂屋ホールディングス(1)	(株)池田銀行(1)	京都信用金庫(2)	大和証券(株)(2)		
	(株)びわこ銀行(2)	(株)三重銀行(1)	(株)みずほフィナンシャルグループ			
2名	村田機械(株)(1)	(株)キーエンス	石川島播磨重工業(株)(1)	(株)デンソー		
	京セラコミュニケーションシステム(株)(1)	日立コンシューマ・マーケティング(株)(1)	(株)ジエイアル東海高島屋			
	(株)平和堂(1)	岐阜信用金庫(1)	新光証券(株)(1)	住友信託銀行(株)(1)		
	(株)中京銀行	中小企業金融公庫	トヨタファイанс(株)	(株)名古屋銀行		
	日興コーディアル証券(株)(2)	(株)福井銀行(2)	(株)福邦銀行(1)	みずほ信託銀行(株)(1)		
	大和工商リース(株)	名古屋国税局	滋賀県庁	彦根市役所(1)		
男子1名	旭化成ホームズ(株)	大倉建設(株)	(株)オーテック	キクテック	国土建設(株)	大和ハウス工業(株)
	(株)竹中工務店	日本電話施設(株)	パナホーム(株)	(株)アンデルセンサービス	(株)飯島商店	
	日本食研(株)	芦森工業(株)	岡本(株)	倉敷紡績(株)	東レ(株)	(株)トンボ
	小林記録紙(株)	電気化学工業(株)	(株)永井工業所	日東电工(株)	日本新薬(株)	
	フタムラ化学(株)	横浜ゴム(株)	愛知製鋼(株)	JFE鋼板(株)	(株)ジエイ・パワー・システムズ	
	新日軽(株)	日昭アルミ工業(株)	日立金属(株)	(株)YKK AP	(株)コボタ	瀧谷工業(株)
	(株)タツイフク	大和冷機工業(株)	TCM(株)	東レエンジニアリング(株)	(株)日本製鋼所	
	アズテック(株)	(株)マキタ	シャープ	富士ゼロックス(株)	京セラ(株)	スタンレー電気(株)
	(株)福井村田製作所	川崎重工業(株)	住電エレクトロニクス(株)	ダイハツ工業(株)	太平洋工業(株)	
	ヤンマー(株)	テルモ(株)	(株)ヒカリ	理研計器(株)	(株)オリンピア	旭興(株)
	アイ・アイ・エム	アルファテックス(株)	インフォーム(株)	Xarts(株)	(株)NTTドコモ九州	日本電気硝子(株)
	大阪ソフトハウス(株)	大津コンピュータ(株)	(株)刊広社	(株)クレスコ	さくらケーシエス	(株)三原社
	住商情報システム(株)	住信情報サービス(株)	ソフトウェア興業(株)	TIS(株)	(株)データサービス	
	西日本電信電話	日本IBM中部リユーション(株)	日本コンピュータ・システム(株)			
	(株)日本システムディベロップメント	(株)日本総合研究所	(株)日本データコントロール			
	日本データ・システムズ(株)	光通信グループ	(株)日立システムアンドサービス	(有)ライ・シメントリ		
	J A L E X P R E S S	(株)住友倉庫	西濃運輸(株)	ソニーサブ・ライチェーンリユーション(株)		
	西日本旅客鉄道(株)	(株)引越社関西	福山通運(株)	松下ジャスティクス(株)	(株)内田洋行	
	花王販売(株)	(株)コバショウ	三共精機(株)	滋賀特機(株)	(株)滋賀リコー	(株)シャルマン
	住友商事マネックス関西(株)	蝶理(株)	東光商事(株)	日鐵商事(株)	(株)広島コボタ	
	富士ゼロックス大阪(株)	(株)マツモト	丸金パワ(株)	(株)山善	(株)オーフィ	(株)カーマ
	(株)コスモス薬品	上新電機(株)	(株)ディリーヤマザキ	トヨカローラ岩手(株)	(株)ナレッジ・デザイン	
	(株)ニッセン	(株)パロー	(株)ファーストリテイリング	文苑堂書店	北海道日産自動車(株)	
	(株)三越	(株)ミドリ電気	(株)ユーストア	ユニー(株)	(株)ラウンドアバウト	(株)レッドバロン
	(株)愛知銀行	(株)伊予銀行	岡三証券(株)	金沢信用金庫	(株)近畿大阪銀行	
	国民生活金融公庫	(株)コムテックス	(株)ジェーシービー	(株)四国銀行	(株)ジャヤコ	
	(株)第十八銀行	商工組合中央金庫	スルガ銀行(株)	(株)泉州銀行	ダイヤモンドリース(株)	

人 数	会 社 名 (順不同)				
	但馬信用金庫 玉島信用金庫 中央三井信託銀行(株) (株)富山銀行 (株)南都銀行 野村證券(株) (株)八十二銀行 ひまわりホールディングス (株)北陸銀行 (株)宮崎銀行 豊商事(株) ユニテック (株)りそなホールディングス 島大証券(株) 朝日生命保険相互会社 (株)アドバンストクリエイト 日本興亜損害保険(株) 富国生命保険相互会社 住友不動産販売(株) (株)タケツー (株)レオパレス21 (有)オープソフェイス (株)タッカッタ ホテルニューアカオ (学)神戸学院大学 (学)名城大学 (株)Will Way 馬渕教室 (株)開拓塾 (株)京進 愛知県経済農業協同組合連合会 兵庫県手延素麺協同組合 兵庫農業協同組合 (株)アルファ A N Aビジネスクリエイト(株) 共同ピーパール(株) (株)サイバーエージェント (株)CCE 鈴木達雄税理士事務所 タイソファシリティーズ(株) (株)タスキン (株)日本エル・シー・エー (株)日本旅行 ヒロセ(株) (株)フルキャスト ベニス産業(株) 本州四国連絡高速道路(株) 三菱電気エンジニアリング(株) (株)リード (株)リクルートHRマーケティング 東海 石川県警察 宇和島市役所 大阪府警察 警視庁 多賀町役場 豊田市役所 名古屋市役所 福井県警察 守山市役所				
女子1名	石友ホーム(株) NECネットエクスアイ(株) 高橋カーテンウォール交工業(株) (株)ヒーハーハウス 宝酒造(株) たねやグループ (株)サンクト (株)マキムラ 中外製薬(株) 日本化薬(株) マックスファクター (株)最上インクス (株)丸順 オフテックス(株) (株)東芝 富士通周辺機器(株) 松下電器産業(株) 日本電産(株) (株)豊田自動織機 大紀商事(株) (株)ケイ・ウノ (株)コクヨ工業滋賀 ミズノ 中部電力(株) (株)エフ・シー・エス (株)エムピー・経営 遠鉄システムサービス クリカ(株) (株)経営情報センター (株)ジユピターテレコム ソフトバンクモバイル社 東京三菱インフォメーションテクノロジー(株) ニッセイ情報テクノロジー(株) 日立ビジネスソリューション(株) (株)北國新聞社 (株)ワイ・シー企画 (株)スキモト 瀧定大阪(株) 東朋テクノロジー(株) 阪和興業(株) (株)平喜 (株)西武百貨店 トヨタ部品愛知共販(株) はるやま商事(株) (株)ビジョンメガネ (株)フランドル (株)ワールドストアパートナーズ 淡路信用金庫 SMB Cフレンド証券(株) カネ商事(株) 近畿労働金庫 滋賀中央信用金庫 (株)セントラルファインズ 長浜信用金庫 播州信用金庫 三菱UFJ信託銀行(株) 第一生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社 (株)ケイ・アンド・アソシエイツ (株)カーネギーマンションズ (株)カーネギーブルーム (株)カーネギーブルーム 武田病院グループ (学)名古屋大原学園 京都農業協同組合 甲賀郡農業協同組合 三宮法律事務所 アイ・ケイ・ケイ(株) 梅山公認会計事務所 川淵税務会計事務所 (株)クリック (株)ジェイエイシージャパン (株)人財開発 中部国際空港旅客サービス(株) (株)ティーアンドエフ・ニース 名南経営グループ (株)日本能率協会コンサルティング (株)阪急ビジネスアソシエイト 三井住友銀ホトリース(株) 名鉄観光サービス(株) 上田市役所 岐阜県庁 兵庫県庁				

備考 2名以上欄の () は女子を内数で示す。

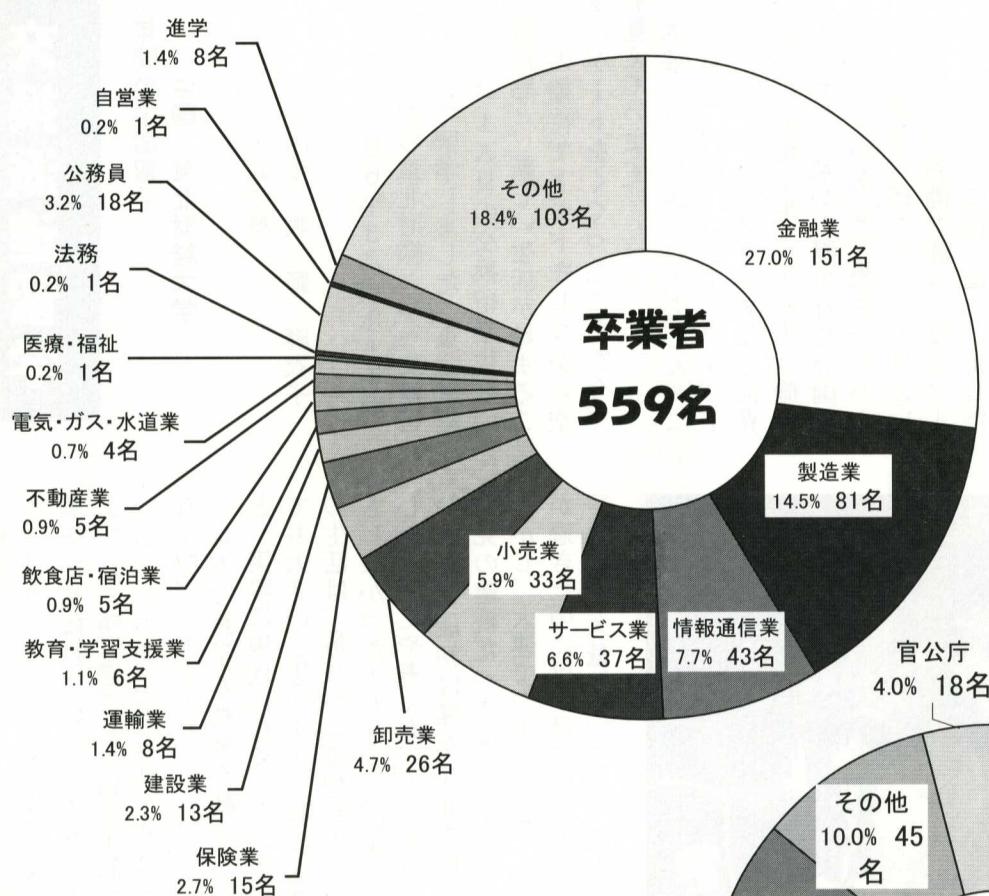
就職状況一覧 (経済学部)

平成19年5月1日現在

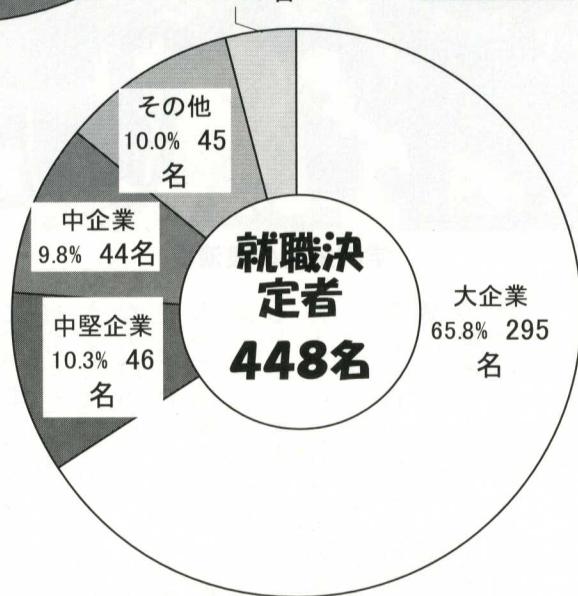
区 分	卒業者 数	大学院 進学者 数	就職希 望者数 B	就職希 望率 B/A (%)	就 職 決 定 者 数				就職決 定率 C/B (%)	就職未 定者数	その他
					教 員	官 公 庁	会 社 等	計 C			
男	386	5	332	86.0	0	14	291	305	91.9	27	49
女	173	3	158	91.3	0	4	139	143	90.5	15	12
計	559	8	490	87.7	0	18	430	448	91.4	42	61

平成18年9月卒業生を含む。

産業別



規模別



備考：資本金による分類

大企業	10億円以上
中堅企業	1億円以上 10億円未満
中企業	1億円未満

国際交流

外国人留学生数（経済学部・大学院経済学研究科）

平成19年5月1日現在

国名	学部	大学院	研究生等	計	国名	学部	大学院	研究生等	計
中国	29	69	10	108	メキシコ			1	2 3
台湾		1		1	ブータン			1	1
韓国	1		2	3	ルーマニア		1		1
モンゴル	1	2		3	ナイジェリア			1	1
ベトナム	1	1		2	インド		1		1
インドネシア	3			3					
バングラデシュ		2		2	合計		37	78	14 129

交換派遣留学

1年間の中国留学

・中国・東北財経大学・

社会システム学科

4回生 牧野 麻衣子

私は2006年3月から1年間、中国・大連の東北財経大学へ交換留学生として留学しました。東北財経大学への1人目の交換留学生という責任感と、新しい生活が始まるこの期待でドキドキしながら空港のゲートをくぐったことを今まで覚えています。

大連では、中国人はもちろんのこと、日本、韓国、ロシア、タイ、ドイツ、アメリカ、フランスなど世界各国からの留学生と交流する機会が多くあり、誰かの誕生日や帰国などイベントがあると集まってパーティを開き、何もなく仲のいいメンバーでお酒を飲み、夏はプール、冬はスキーに行くなど、毎日たくさん話をしても仲のいい韓国人の女の子と2人でルームシェアをしたことです。一緒に住み始めた最初の頃は2人の文化や生活パターンが違うこともあり、少しがくしゃくした時期もありました。しかし、毎晩たくさん語り合い、長く



学院主催の表演後

日本で語学の勉強を続けることと、実際に現地に行くこととの差はとても大きいと思います。私の大連での生活は、毎日が『没想到！（思いもしなかった！ありえない！）』でした。文化や考え方、人との付き合い方など最初は様々な面で新しい発見の連続だったように思います。しかし、大連での生活も2、3ヶ月が過ぎた頃には、最初は見るたびに戸惑った大量に出回るコピー商品

と一緒に過ごすうちに、お互いに韓国人、日本人という枠を超えた友達の関係が結ばれていったようだよと思ひます。一緒に過ごした約半年間の思い出とその間に得られた絆は大切な宝物になりました。

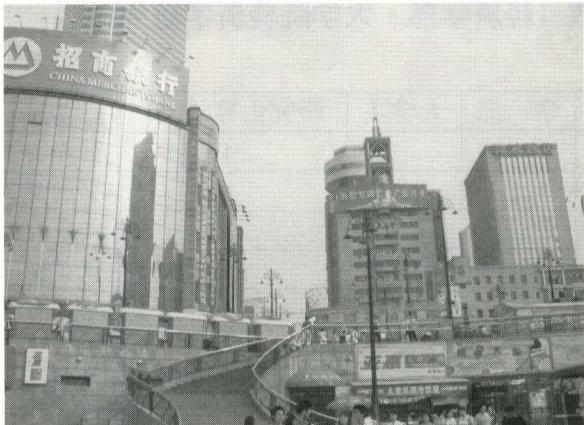
私はこの留学が決まったとき、『やりたいことはなんでもやつてみよう！失敗したらまた考えればいい！』と、留学生活を無駄にしないことを決意しました。そのおかげか、寮からアパートへの引っ越しや日本語学校の講師、学院主催のショーケースへの出演、カンフーの習得、各地への旅行などやりたいことになんでも挑戦できました。この1年間で得たものは、語学力をはじめ、世界各国の友人たち、経験など本当に数え切れないほどたくさんあります。また、自分でも知らなかつた自分をたくさん見つけることができました。外国での生活が『没想到』なのは当たり前。それを最初から否定して自分の殻にこもるか、「郷に入つては郷に従え」と前向きにぶつかっていくかで何倍にも楽しくなると思います。滋賀大学から東北財経大学への初めての交換留学生というプレッシャーはありましたがあれも自分を高めるためのいい刺激になりました。今後も今回の留学の経験を生かして、さらに新しいことに挑戦していきたいと思います。

アメリカ、ミシガンでの体験

企業経営学科

4回生 石川 龍二

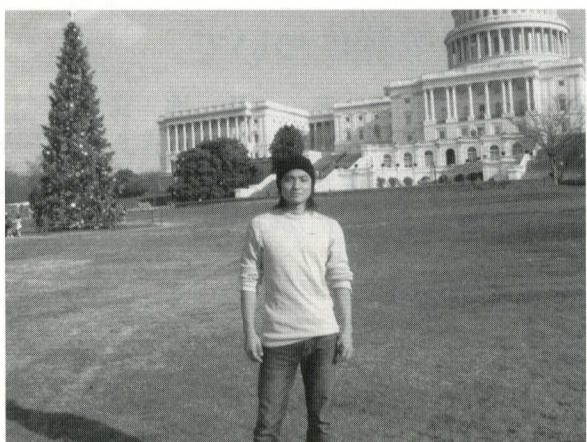
2学期に渡るミシガンで学んだことのなかで1番思い出深い経験は、言葉を超えた外国人と友情を結ぶことができたことです。勉強など自分でクリアしていくことが必要なことと違い、友達をつくるということは相互における関係なので、留学



大連市内の風景

【派遣留学先】
中国 東北財経大学

【研修期間】
平成18年3月～平成19年2月



国会議事堂にて

前から気の合う友人ができるかという不安がありました。しかしミシガンに行ってから2ヶ月もすると平日は図書館で勉強し、週末はペーティーに行ってお酒を飲むというアメリカの大学生活にも慣れ、それと同時に友達も増えました。このとき自分に英語のコミュニケーション能力があつたとはお世辞にもいえませんし、時には発音がしつかりとしてないことから相手が理解できずに言い直さないといけないこともありました。それでもアメリカ人学生の2人とドイツからの交換留学生1人と仲良くなつてからは、一緒にスポーツをしたり映画を見たりと多くの時間を共に過ごしました。なかでも感謝祭に過ごしました。

なかでも感謝祭の時、友達の家に滞在させていただきたいことや、ナイアガラの滝、カナダまで車で旅行に行つたことなどは今でも心の中に鮮明に残っています。また向こうに行つてから初めて気づいたことは、思っていたほどアメリカ人は個人主義ではないのです。また向こうに行つてから初めて気づいたことは、思っていたほどではなく別の友人に話したところ、その話が伝わったということです。仲のいい友人が何故自分達に先に言わないんだ1番の友人じやないかということを言われ、びっくりしたのと嬉しいという二つの感情を同時に抱いたことを覚えていました。彼らとはいつも食事のとき食べようとも誘い合うような仲で、留学生



大学のスタジアム



ワシントンのバーにて

活の終盤では友達というよりも仲間という感じでした。帰国後もパソコンや手紙を通じ今でも連絡をとっています。また、1ヵ月間1人でアメリカを旅行したときにユースホステルで出会った世界中の国の人たちは、遅くまでお互いの国のことに関して話したり共に旅行したりと、学校では会えない幅広い年齢層や職業の人々との出会いも数多くありました。

言葉を超えた友人をこれまで持つていなかつた自分にとって、この留学を通して得た友情はかけがいのないものであり今後も大切にしたい 것입니다。

最近の主な留学先

大学名	国名	条件など
ミシガン州立大学	アメリカ合衆国	TOEFL 213点(CBT)以上
ディーキン大学	オーストラリア	TOEFL 213点(CBT)以上
東北財経大学	中国	
ラジャパット大学連合	タイ	一部の授業は英語
チエンマイ大学	タイ	一部の授業は英語
グアナファト大学	メキシコ	現地の外国语センターでスペイン語を習得

【派遣留学先】
アメリカ合衆国
ミシガン州立大学

【研修期間】
平成18年8月～平成19年5月

平成18年度決算および平成19年度予算について

幹事 三橋勝三 森地克彦

入学式後に開催いたしました後援会総会には、今年度も多数の皆様方のご出席をいただきありがとうございました。総会におきまして平成18年度決算および平成19年度予算案が承認されましたが、出席されなかつた会員の皆様のために、ここに決算書と予算書を掲載させていただきます。

平成18年度 経済学部後援会予算収支報告書

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	3,318,561	
会費(学部新入生)	8,625,000	575人×@15,000
会費(編入生)	150,000	20人×@7,500
会費(大学院新入生)	270,000	36人×@7,500
利息	3,632	
収入合計	12,367,193	

(単位:円)

支出

科目	予算額	支出額	過不足額	備考
①厚生体育費補助	3,800,000	3,563,142	236,858	近国体運営費補助、大会出場者交通費補助等
②文化活動補助	1,900,000	1,889,918	10,082	開学祭、滋大祭補助等
③学生研究調査費補助	180,000	135,000	45,000	学生懸賞論文副賞
④学務関係補助	1,100,000	774,603	325,397	学務関係諸経費補助等
⑤就職補助費	550,000	550,000	0	就職関係費用補助
⑥団体分担金	300,000	148,210	151,790	会費、学会開催経費補助
⑦研究所等補助	900,000	900,000	0	資料購入・運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	700,000	390,844	309,156	入学式・総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	300,000	293,473	6,527	後援会だより発行費
⑩涉外費	920,000	622,989	297,011	学部事業補助経費、慶弔費等
⑪総務費	40,000	19,590	20,410	通信費、切手代等
⑫外国人留学生後援会援助費	50,000	50,000	0	留学生後援会援助金
⑬会議準備費	0	0	0	
⑭宿舎積立金	0	0	0	
⑮予備費	1,627,193	0	1,627,193	
支出合計	12,367,193	9,337,769	3,029,424	

平成18年度 図書充実費収支計算書

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	243,887	
会費(学部新入生)	575,000	575人×@1,000
会費(編入生)	10,000	20人×@500
会費(大学院新入生)	18,000	36人×@500
利息	240	
収入合計	847,127	

(単位:円)

支出

科目	支出額	備考
図書購入費等	742,153	
次年度繰越額	104,974	
収出合計	847,127	

(単位:円)

平成18年度 体育充実費収支計算書

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	172,578	
会費(学部新入生)	575,000	575人×@1,000
会費(編入生)	10,000	20人×@500
会費(大学院新入生)	18,000	36人×@500
利息	187	
収入合計	775,765	

(単位:円)

支出

科目	支出額	備考
近国体分担金	200,000	
ゴルフ教室実習補助	135,000	
スキ教室経費	137,134	
正課体育用品購入費	203,400	
次年度繰越額	100,231	
収出合計	775,765	

(単位:円)

平成19年度 経済学部後援会予算

(単位:円)

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	3,029,424	
会費(学部新入生)	8,640,000	576人×@15,000
会費(編入生)	142,500	19人×@7,500
会費(大学院新入生)	217,500	29人×@7,500
利息	15,059	
収入合計	12,044,483	

(単位:円)

支出

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	3,900,000	近国体運営費補助、大会出場者交通費補助等
②文化活動補助	1,900,000	開学祭、滋大祭等補助等
③学生研究調査費補助	160,000	学生懸賞論文副賞
④学務関係補助	1,400,000	学務関係諸経費補助等
⑤就職補助費	0	就職関係経費補助
⑥団体分担金	150,000	会費、学会開催経費補助等
⑦研究所等補助	900,000	資料購入・運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	500,000	入学式・総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	350,000	後援会だより発行費
⑩涉外費	710,000	学部事業補助経費、慶弔費等
⑪総務費	35,000	通信費、切手代等
⑫外国人留学生後援会援助費	50,000	留学生後援会援助金
⑬会議準備費	0	
⑭宿舎積立金	0	
⑮予備費	1,989,483	
支出合計	12,044,483	

平成19年度 図書充実費予算

(単位:円)

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	104,974	
会費(学部新入生)	576,000	576人×@1,000
会費(編入生)	9,500	19人×@500
会費(大学院新入生)	14,500	29人×@500
利息	810	
収入合計	705,784	

(単位:円)

支出

科目	支出額	備考
図書購入費等	600,000	
繰越予定額	105,784	
支出合計	705,784	

平成19年度 体育充実費予算

(単位:円)

収入

科目	決算額	備考
前年度繰越額	100,231	
会費(学部新入生)	576,000	576人×@1,000
会費(編入生)	9,500	19人×@500
会費(大学院新入生)	14,500	29人×@500
利息	800	
収入合計	701,031	

(単位:円)

支出

科目	支出額	備考
近国体分担金	200,000	
体育実習補助	200,000	
正課体育用品購入費	200,000	
繰越予定額	101,031	
支出合計	701,031	

平成19年度後援会役員名簿

会長	土田一善	委員	山口健作	委員	小林隆典
副会長	岩田守弘	委員	立木潤一	委員	矢田稔
副会長	吉田創	委員	福永雅幸	委員	小河原啓介
幹事	三橋勝三	委員	一ノ宮富造	委員	土坂等
幹事	森地克彦	委員	伊藤久司	委員	大江陽
監事	草川喬夫	委員	田井中安朗	委員	今村進一
監事	深尾一郎	委員	戸田茂	委員	中山義彦
委員	北村勘治郎				

平成19年度 学年暦・主要な行事(予定)

月・日(曜)	行 事
4/5(木) 6(金)・9(月)	入学式(於:大津市びわ湖ホール) 新入生オリエンテーション 就職ガイダンス(1回生、編入生) 健康診断(2~4回生)
6(金)~27(金) 9(月) 9(月)・13(金) 10(火) 21(土)	成績配布 健康診断(1回生) 春学期授業開始 開学祭
5/8(火) 16(水) 31(木)	新入生歓迎マラソン 学生総会、体育会総会、文サ連総会 開学記念日(授業実施)
6/2(土) 16(土)・17(日) 20(水) 22(金) 23(土)・24(日) 28(木)	学長賞表彰式 第42回滋和二大学学長杯争奪総合定期戦(於:和歌山大学) 成績優秀者表彰式 就職説明会(キックオフ宣言・3回生) フレッシュマンキャンプ(於:希望ヶ丘) キャンパス・クリーンアップ
7/10(火)・11(水) 14(土)・21(土) 23(月) 24(火)~8/6(月)	後期分授業料免除説明会 補講日 春学期授業終了 春学期試験(予備日含む。)
8/7(火)~25(土) 4(土) 7(火)~9/30(日) 7(火) 18(土)~9/1(土) 27(月)~9/23(日)	近畿地区国立大学体育大会 オープンキャンパス 夏季休業(集中講義) 第1回就職ガイダンス(3回生) タイ・エコスタディー・ツアー ミシガン州立大学夏期語学研修
9/27(木) 28(金) 28(金)	TOEIC-IP試験(1回生全員) 専門コース制説明会 成績配布
10/1(月) 5(金) 11(水) 11(水) 29(金)	秋学期授業開始 就職ガイダンス(2回生) 公務員ガイダンス(1~3回生) 国税専門官採用試験説明会(1~3回生) 第2回就職ガイダンス(3回生)
10/ ~12/(未定)	就職基礎講座(3回生)
11/1(木)~4(日) 9(金) 9(金) (未定)	大学祭 国家公務員採用試験説明会(1~3回生) 自衛隊職員採用試験説明会(1~3回生) 第29回陵水懇話会(3回生)
11/ ~12/(未定)	業界セミナー(3回生)
12/8(土)・9(日) (未定) 22(土)~1/3(木)	リーダース・トレーニング 就職内定者による後輩指導(3回生) 冬季休業(集中講義)
12/ ~1/(未定)	会計人会による説明会・懇談会(1~3回生)
1/4(金) 12(土)・26(土) (未定) 18(金) 28(月) 29(火)~2/12(火)	授業再開 補講日 次年度前期分授業料免除説明会 休講(センター試験準備) 秋学期授業終了 秋学期試験(予備日含む。)
2/(未定) (未定)	O B就職セミナー(企業説明会・3回生) 中国・東北財経大学中国語研修
3/(未定) 26(水)	オーストラリア・スタディー・ツアー 卒業式(於:大津市びわ湖ホール)

- ・変更される場合があります。
- ・配布された案内、掲示板等で確認してください。



学部長から表彰状を授与

6月20日(水)成績優秀者に対する第6回表彰式を経済学部講堂で挙行しました。今年度の成績優秀者は2回生名、3回生15名、4回生12名の計29名が選考され、表彰式にはうち42名が出席しました。表彰式では、福田先生が手渡し、その中でも極めて成績が優秀であった1名には学部長賞が

学業成績優秀者を顕彰

本制度は、前年度学期末の総合成績上位者の日々の努力を讃え、今後の一層の研鑽を期待して設けられたもので、この制度の定着により勉学意欲の高揚とそれに伴う学力向上が期待されます。また、更に自己アピールに役立つと期待されます。

編集後記

「後援会だより」第2号をお届けすることとなりました。

今後、内容を充実していくために、会員の皆様の記事についての感想や要望、後援会や経済学部に対する要望、意見等を郵送又はFAX(封筒に記載)でお聞かせいただきたいと思います。

(T・M)